

整理番号 S-90

出展 織物欠点解析事例集(第2集)

欠点名 たて筋(糸損傷)

品名 ポリエステル刺繍入りジョーゼット

試料形態 織物

組織 平

糸使い

たて糸:ポリエステル 75d/72f (S,Z)2,800T/m 2本交互

よこ糸:ポリエステル 75d/72f (S,Z)2,800T/m 2本交互

欠点発生状況

仕上げ加工後に発見された白っぽく光って見えるたて方向の筋状の欠点である。たて糸に添っておらず、また、それぞれの筋が互に必ずしも平行ではなく交錯している箇所もある。多い所では5cm幅の中に数本の筋がある。また、これらの筋は断続的に現われたり消えたりしている。

試料写真



試験結果

(1)電子顕微鏡観察

- ・たて筋状に見える箇所は、たて糸の一部が著しく溶融している。
- ・よこ糸の一部も少し溶融している。
- ・布の表面の凸部が溶融しており、凹部は正常である。
- ・異常部はフィラメントが完全に溶けており原形を留めない状態に変化している。

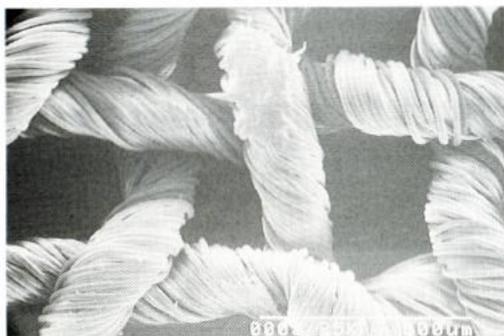


写真 1



写真 2

所見

電子顕微鏡による観察結果から、本欠点は製織工程後に起因する布地の表面損傷であることが判った。また、異常に著しく溶融していることから単なる擦過あるいは圧迫等によるものではないと考えられ、刺繍工程をたてていることから、例えばプレス工程などで相当に高温の物体に接触したために生じた溶融である可能性が大きい。
